

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

川崎市立南河原小学校

## 【取組内容①】子どもとともに取り組む『子ども一人一人が主語になる授業』

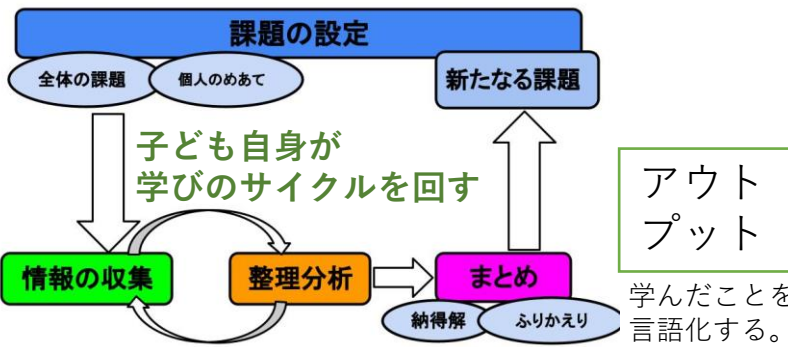
子ども自身が「子ども一人一人が主語になる授業」について考え方を理解して、授業の在り方を考え、自分の課題にむけて解決する。

これまで 教師が「子ども一人一人が主語になる授業」を考え授業を行う。

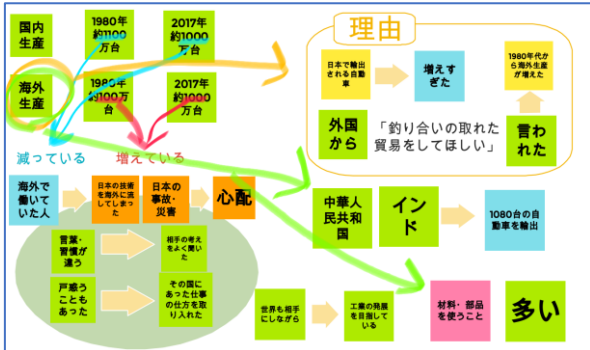
実践 子どもとともに学び方について考え、共に授業をつくる。

めあてとして自分の取り組みたいことを共有し、困ったときに誰に関わればよいかを明確にする。

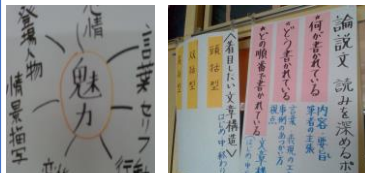
課題	理由	解決策	理由	解決策	理由	解決策
教員数について	きょうしつについて	きょうしつが足りない	きょうしつが足りない	きょうしつを増やす	きょうしつを増やす	きょうしつを増やす
色紙の準備について	色紙の準備について	色紙の準備が足りない	色紙の準備が足りない	色紙の準備を増やす	色紙の準備を増やす	色紙の準備を増やす
けいさつについて	けいさつについて	けいさつについて	けいさつについて	けいさつについて	けいさつについて	けいさつについて
消防士について	消防士について	消防士について	消防士について	消防士について	消防士について	消防士について
消防士について	消防士について	消防士について	消防士について	消防士について	消防士について	消防士について



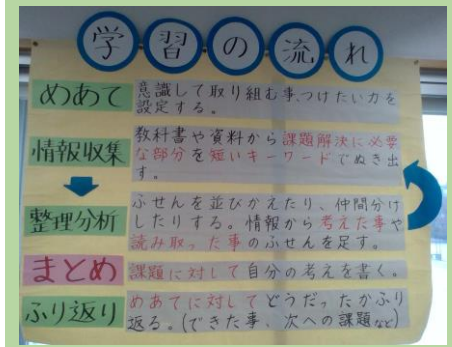
情報を収集し、考えを整理していく。必要に応じて友達と取組を他者参照し、直接対話を重ねて他者からも情報収集をする。



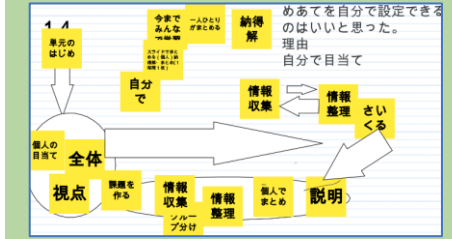
視点を明確にして情報収集・整理分析をする。



学び方について教室に通年掲示する。

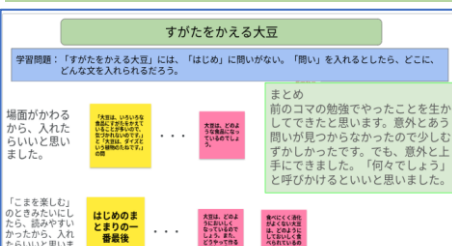
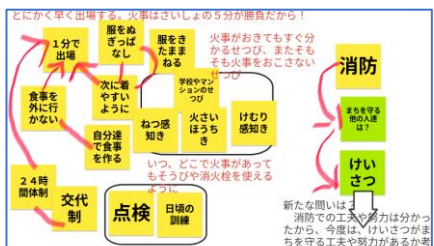


高学年では更に自分で学び方を考える。



アウトプット

学んだことを言語化する。



# リーディングDXスクール事業【実践事例】

川崎市立南河原小学校

## 【取組内容④】 校内研修等の業務で『目指す授業の在り方』を体現

目指す授業としての「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を  
まずは校内授業研究会の研究協議で体現する。

これまで

1つのJamboardにグループで付箋を出し合い、グループの考えをまとめる。

実践

1人1Jamboardで学んだことを一人一人がまとめ他者参照。最後に言語化する。



- **情報の収集**  
話し合いや講師の助言を聞きながら付箋を追加して情報収集していく。
- **整理・分析**  
他の人の考えを他者参照しながら、考えたことを整理・分析する。
- **まとめ・表現**  
最後に自分の考えを文章でまとめ、表現する。明日からの自分の実践にどうか、新たな課題を設定し、一人一人が自分事として考えをまとめる。

《まとめ》

- ・情報収集・整理分析のまとめと『話し合い』が同時に行える点よい。
- ・自分の考えをまとめる際に話し合うのは、効果がないかもしれない。
- ・個人のめあてを『この学習でどんな力をつけたいか』『何を目的にして交流をしたいか』など、具体的なものにしていくために支援が必要。
- ・話し合いの表現、表現の話し合いの流れを個人が選択してもいい。
- ・6年生で目標を達成するために、1年生から段階的にどんな力を身につけていけばよいか考えていくことが必要。
- ・他者参照する力も大切にしていきたい。
- ・比較する視点と比較する準備（並べる・そろえる・既習との違いなど）を大切にしていきたい。

本時中に

情報収集・整理分析

友達の話

共有

課題

指導主事より

自分なりの目的意識

学びの形を児童が自己決定

最後は個に戻る

アウトプットを意識した授業の児童の思考の高まり

発達段階に応じた学習の活用

汎用的な考え方の指導・積み重ね

教師は、つなぐ役として

ねらいたいところは、同時進行

文章を根拠に！(国語として)

〇〇さんがこう言っていたよ

あのグループに行っていたら

**先生たちの声**

授業でも1人1Jamboardを活用している。実際に自分たちでやってみると、授業でもっとこうやってみようというアイデアが湧いてくる。

グループで考えをまとめると経験の少ない先生は意見を出しにくいことがあったけれど、1人1Jamboardだと自分で考えて表現しないといけないので、頭がフル回転する。困ったときはベテランの先生のJamboardを参考できるので勉強になる。



## リーディングDXスクール事業【実践事例】

川崎市立南河原小学校

## 【取組内容⑤】 授業を公開し、地域内外に実践を発信

市内、市外、海外に向けた11回の授業公開、オンラインによる講師の講演の公開を通して、実践を発信。

	日付	内容	公開先
1	7/4	海外からの授業視察	アジア諸国 約20名
2	7/4	校内授業研究会、講演のオンライン配信	市内
3	7/19	授業公開	市内
4	10/19	校内授業研究会	市内・市外
5	10/26	校内授業研究会	市内・市外
6	11/10	授業公開	市外
7	11/21	校内授業研究会	市内
8	12/5	校内授業研究会	市内
9	12/19	全クラス公開授業、講演のオンライン配信	市内約100名 市外約60名
10	1/26	校内授業研究会	市内
11	2/16	授業公開	市外

## 12/19 全クラス公開授業 申込から指導案まで全てクラウドで

- **申込**  
アンケートフォームを利用
- **受付**  
二次元コードによるフォーム入力による受付
- **指導案**  
先生方が他者参照しながらスライドで作成
- **研究協議**  
ディスカッションフォームを通してスプレッドシート上でも非同期に研究協議
- **振り返りアンケート**  
二次元コードによるフォーム入力による振り返り



### 参加した先生たちの声

各授業でめあての共有や意見のアウトプットなど様々な場面で1人1台端末が活用されており、先生方が普段から授業改善の中で端末の活用挑戦されている姿を見ることができました。授業を通して子供たちに身に付けてほしい力を明確にし、これからの社会の創り手となるよう、不断の授業改善が行われているのだと感じました。